

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●北村友一騎手がJRA通算800勝を達成

2月27日(土)の1回阪神5日・第10レースとして行われたマーガレットS(L)ではアスcolターレが1着となり、同馬に騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、史上55人目、現役では29人目となるJRA通算800勝(9406戦目)を達成しました。

●大野拓弥騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

2月28日(日)の2回中山2日・第9レースとして行われたデイジー賞でタイセイルージュに騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上37人目、現役では24人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●蛭名正義騎手、佐久間寛志騎手が引退

2月28日(日)をもって、蛭名正義騎手(美浦・フリー/JRA通算2万1183戦2541勝)、佐久間寛志騎手(栗東・渡辺薫彦厩舎/JRA通算1954戦65勝)が引退しました。蛭名騎手は調教師となり、佐久間騎手は渡辺薫彦厩舎で調教助手となる予定です。

●調教師8名が引退

2月28日(日)をもって、石坂正調教師(栗東/JRA通算5813戦690勝)、角居勝彦調教師(栗東/5510戦762勝)、田所秀孝調教師(栗東/6405戦367勝)、西浦勝一調教師(栗東/5450戦458勝)、西橋豊治調教師(栗東/5325戦215勝)、星野忍調教師(美浦/3998戦131勝)、松田国英調教師(栗東/5308戦638勝)、湯窪幸雄調教師(栗東/4560戦270勝)が引退しました。

●ディアドラ、メールドグラスらの競走馬登録抹消

2017年秋華賞(G I)や2019年ナッソーS(英G I)などの勝ち馬ディアドラ(牝7歳/栗東・橋田満厩舎/JRA通算19戦7勝・海外14戦1勝)、2019年コーフィールドC(豪G I)などの勝ち馬メールドグラス(牡6歳/栗東・清水久詞厩舎/JRA通算17戦7勝・海外2戦1勝)、2020年産経賞オールカマー(G II)の勝ち馬センテリユオ(牝6歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算18戦5勝)は、2月12日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ディアドラはアイランドのクールモアスタッド、センテリユオは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬、メールドグラスは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マルシュロレーヌがエンプレス杯(川崎)で3度目の重賞制覇

エンプレス杯(Jpn II、3月4日、川崎、2100m)は、後方から徐々に追いつけた1番人気のマルシュロレーヌ(川田将雅騎手、牝5歳、父オルフェーヴル)が、逃げ粘るサルサディオオーネ(大井)をゴール前で差し切って優勝。3番人気のマドラスチェックは差のある3着、2番人気のレーヌブランシュは5着、プリンシアコメータは8着、ローザノワールは9着でした。

●スプリングC(名古屋)はブンブンマル【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(2月24日、名古屋、1800m)は、好位から4コーナーで先頭に立った単勝1.8倍で断然人気の地元愛知所属馬ブンブンマル(牡、父ナムラタイタン)がそのまま押し切り、新春ベガサスCに続く重賞2連勝を達成しています。

●クリンチャーらが参戦、3月11日の名古屋大賞典(名古屋)

名古屋大賞典(Jpn III、3月11日、名古屋、1900m)は、佐賀記念を圧勝したクリンチャーが中心、以下ロードプレス、メイショウカズサ、ウインユニファイド、バンクオブクラウド、ジギ(兵庫)、ノーブルサターン(大井)までが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1オーストラリアンギニー〜最低人気のルナーフォックスが優勝

2月27日にオーストラリアのフレミントン競馬場で行われたG1オーストラリアンギニー(3歳、芝1600m)は、M.ディー騎手が手綱を取ったルナーフォックス(牡、父フォックスウェッジ、P.プレスカー厩舎)が最低人気(単勝301倍)の低評価を覆しての差し切り勝ち。前走2月13日のG3CSヘイズS12着から巻き返してG1初制覇を果たしました。G1ブルーダイヤモンドS勝ち馬で、前走のG3CSヘイズSを勝って、1番人気に推されたタガロア(父ロードカナロア)は逃げて3着でした。なお、今回の単勝配当はオーストラリアのG1における史上最高記録です。

●G3サウスウエストS〜昨年の米2歳牡馬王者が今季初戦を快勝

米国アーカンソー州のオークローンパーク競馬場で2月27日に行われたG3サウスウエストS(3歳、ダート1700m)は、水の浮く不良馬場の中、L.サエス騎手を背に中団から徐々にポジションを押し上げていったエッセンシャルクオリティ(牡、父タビット、B.コックス厩舎)が4馬身 $\frac{1}{4}$ 差で快勝。昨年11月のG1BCジュヴェナイル(ダート1700m)優勝以来となる今季初戦を制して、デビューからの連勝を4に伸ばしました。